

## 甲第6号証

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-96958

(43)公開日 平成8年(1996)4月12日

(51)Int.CI.

識別記号

F I

H05B 33/14

C09K 11/00

11/08

11/62

G09F 9/30

F 9280-4H

A 9280-4H

9280-4H

CPC

365

C 7426-5H

審査請求 未請求 請求項の数11 FD (全7頁)

(21)出願番号 特願平6-254393

(71)出願人 000004260

日本電装株式会社

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

(22)出願日 平成6年(1994)9月22日

杉浦 和彦

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 日本電  
装株式会社内

(72)発明者 片山 雅之

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 日本電  
装株式会社内

(72)発明者 伊藤 信衛

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 日本電  
装株式会社内

(74)代理人 弁理士 藤谷 修

最終頁に続く

(54)【発明の名称】エレクトロルミネッセンス素子とその製造方法

## (57)【要約】

【目的】EL素子の発光輝度を向上させること。

【構成】絶縁性基板であるガラス基板11上に、光学的に透明な酸化亜鉛(ZnO)から成る第一透明電極(第一電極)12、五酸化タンタル(Ta<sub>2</sub>O<sub>5</sub>)から成る第一絶縁層13、4硫化ガリウムカルシウム(CaGa<sub>4</sub>S<sub>3</sub>)を母体材料としセリウム(Ce)を発光中心とし母体材料を構成するII族元素であるカルシウム(Ca)と異なるイオン半径を持つIII族元素としてマグネシウム(Mg)が添加された発光層14、五酸化タンタル(Ta<sub>2</sub>O<sub>5</sub>)から成る第二絶縁層15、光学的に透明な酸化亜鉛(ZnO)から成る第二透明電極(第二電極)16が順次積層されることによりEL素子100が構成される。

